

令和4年11月19日（土）  
於：目黒区立五本木小学校3Fミーティングルーム  
都市整備部建築課

## 令和4年度 目黒区応急危険度判定模擬訓練

### 次 第

14:10-14:25	受付
14:30-14:35	建築課長挨拶
14:35-14:40	コーディネーター紹介
14:40-14:55	本日の訓練内容説明、班分け、班長決め
14:55-15:20	動画講習（日本建築防災協会 作成動画）
15:20-16:00	・ 下げ振り測定訓練 ・ RC造判定活動、ステッカー作成・貼付  <u>※16:00 までにミーティングルームへ戻ってください</u>
16:00-16:15	①各チームの調査票を班長へ提出、班長は記載漏れないかチェック ↓ ②班長からコーディネーターへ調査票等提出 ↓ ③コーディネーターによる集計表まとめ
16:15-16:30	演習結果説明、質疑、総括、解散

**模擬演習（鉄筋コンクリート造建築物の応急危険度判定演習）**

下記の鉄筋コンクリート造建築物について、応急危険度判定調査表および判定ステッカーを完成させてください。なお、調査回数は1回目、方法は外観調査のみ実施とします。

**1. 建築物概要**

- ・建築物名称：五本木マンション
- ・住所：目黒区五本木 2-24-3
- ・立面形状：地上3階（地下無し）
- ・工法：鉄筋コンクリート造
- ・建築物用途：共同住宅
- ・調査日時：R 4年11月19日14時
- ・平面形状（桁行×張間）：約24m×7m

**2. 被害状況**

- ・建築物の1階部分が最大の被害階である
- ・建築物は平坦な敷地に建っており、隣地とも高低差はない
- ・建物の基礎は健全であり、上部とずれはない
- ・隣接建築物や周辺地盤の破壊による危険はない
- ・地盤破壊による建築物の沈下は見られない
- ・窓枠・窓ガラスには歪み、ひび割れが生じているが落下の危険はない
- ・外壁はタイル張りであるが、特に損傷はみられない
- ・一部外壁に設置されている看板にわずかな傾斜が見られる
- ・屋外階段はなし

**3. 調査内容****3.1. 柱の損傷**

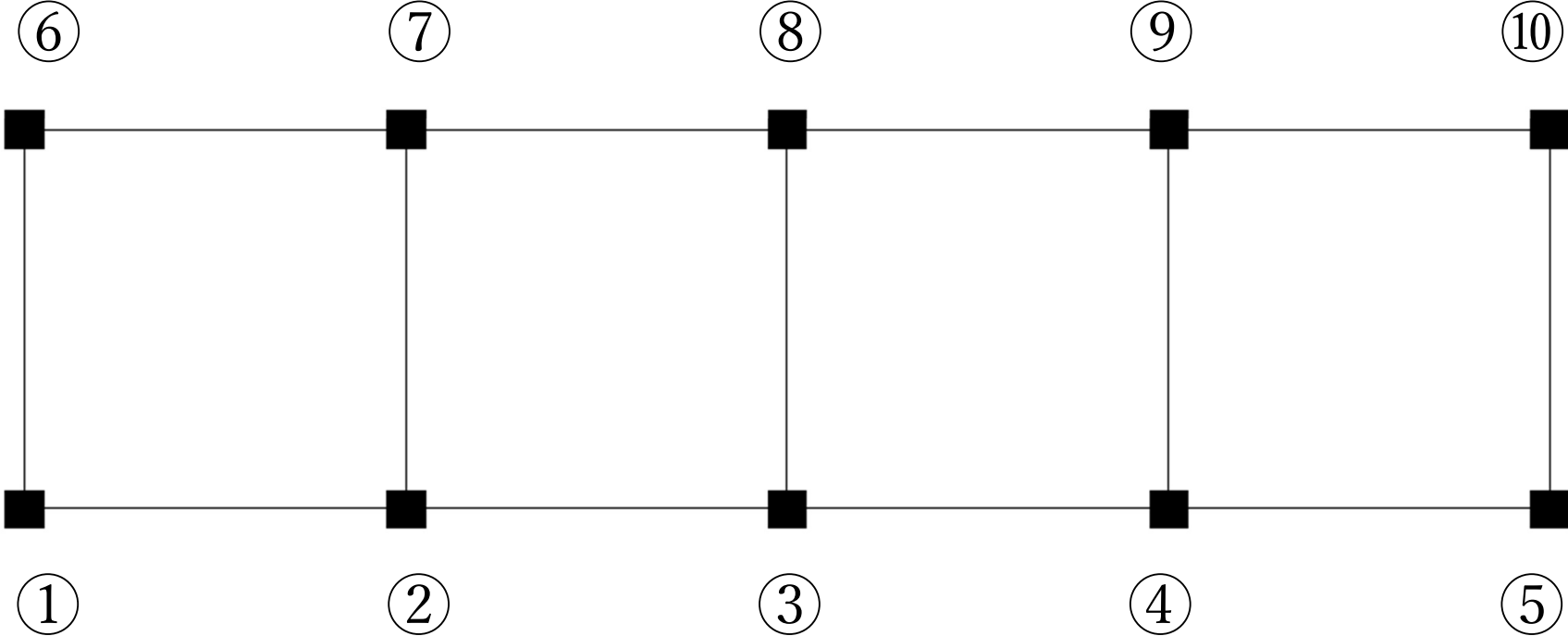
裏面記載の平面図の柱（①～⑩）については、全て外観からの目視が可能である。各柱の損傷度を判定する。

**3.2. 建築物全体の傾斜**

一部で建築物の傾斜が確認できる。下げ振りによる測定を行う。

【裏面 建物平面図】

調査建築物の1階平面図



## 鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表

RC

整理番号 \_\_\_\_\_ 調査日時 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 午前・午後 \_\_\_\_\_ 時 調査回数 \_\_\_\_\_ 回目  
 調査者氏名（都道府県／No） \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ )  
 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ )

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

3 \_\_\_\_\_  
 4 \_\_\_\_\_  
 地上 \_\_\_\_\_ 階  
 地下 \_\_\_\_\_ 階  
 ア \_\_\_\_\_ m  
 イ \_\_\_\_\_ m

## 建築物概要

- 1 建築物名称 \_\_\_\_\_ 1.1 建築物番号 \_\_\_\_\_  
 2 建築物所在地 \_\_\_\_\_ 2.1 住宅地図整理番号 \_\_\_\_\_  
 3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所  
 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場  
 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他 ( \_\_\_\_\_ )  
 4 構造種別 1.鉄筋コンクリート造 2.プレキャストコンクリート造 3.ブロック造  
 4.鉄骨鉄筋コンクリート造 5.混構造 ( \_\_\_\_\_ ) と ( \_\_\_\_\_ )  
 5 階数 地上 \_\_\_\_\_ 階 地下 \_\_\_\_\_ 階  
 6 建築物規模 1階寸法 約ア \_\_\_\_\_ m×イ \_\_\_\_\_ m

## 調査 調査方法：(1. 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施)

- 1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他 ( _____ )

調査方法

1 \_\_\_\_\_

## 2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
判定(1) ① ① 損傷度Ⅲ以上の損傷部材の有無	1. 無し	2. あり	
判定 ② ② 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険 ③ ③ 地盤破壊による建築物全体の沈下 ④ ④ 不同沈下による建築物全体の傾斜	1. 危険無し	2. 不明確	3. 危険あり
	1. 0.2m以下	2. 0.2m～1.0m	3. 1.0m超
	1. 1/60 以下	2. 1/60～1/30	3. 1/30 超
	柱の被害 [下記⑤⑥の調査階(被害最大の階) _____ 階] (壁構造の場合は柱を壁の長さに読みかえる)		
判定(2) ⑤ ⑤ 損傷度Ⅴの柱本数/調査柱本数 損傷度Ⅴの柱総数 _____ 本 調査柱 _____ 本 (調査率 _____ %) ⑥ ⑥ 損傷度Ⅳの柱本数/調査柱本数 損傷度Ⅳの柱総数 _____ 本 調査柱 _____ 本 (調査率 _____ %)	1. 1%以下	2. 1%～10%	3. 10%超
	1. 10%以下	2. 10%～20%	3. 20%超
	1. 調査済み 全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1の場合	3. 危険 Cランクが1以上又はBランクが2以上
危険度の判定 判定(1)と判定(2)のうち大きな方の危険度で判定する	1. 調査済み (要内観調査)	2. 要注意	3. 危険

判定(1)

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

柱の被害最大の階

⑤ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

判定(2)

判定

\_\_\_\_\_

## 3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
① ① 窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り
② ② 外装材(モルタル・タイル・石貼り等)	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剥離
③ ③ 外装材(ALC板・PC板・金属・ブロック等)	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊
④ ④ 看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り
⑤ ⑤ 屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜
⑥ ⑥ その他 ( _____ )	1.安全	2.要注意	3.危険
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

判定

\_\_\_\_\_

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

総合判定

\_\_\_\_\_

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

## 鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表

RC

整理番号 五本木 2-24 調査日時 11 月 19 日 午前・午後 2 時 調査回数        回目  
 調査者氏名 (都道府県/No) 応急 太郎 ( 東京都 / No. 01-2-34567 ) (1回目は記入不要です)  
危険度 花子 ( 東京都 / No. 12-3-45678 )

整理番号  
五本木 2-24

建築物番号  
3

住宅地図整理番号

20

3 3

4 1

地上 3 階

地下 - 階

ア 24 m

イ 7 m

調査方法

1

1 レ

(該当なし)

判定(1)

① 2

② 1

③ 1

④ 1

柱の被害最大の階

1

⑤ 2

⑥ 2

判定(2)

3

判定

3

## 建築物概要

- 1 建築物名称 五本木マンション 1.1 建築物番号 3  
 2 建築物所在地 五本木 2-24-3 2.1 住宅地図整理番号 20  
 3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所  
 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場  
 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他 ( )  
 4 構造種別 1.鉄筋コンクリート造 2.プレキャストコンクリート造 3.ブロック造  
 4.鉄骨鉄筋コンクリート造 5.混構造 ( ) と ( )  
 5 階数 地上 階 地下 階  
 6 建築物規模 1階寸法 約ア 24 m×イ 7 m

調査 調査方法 (1.外観調査のみ実施 2.内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他 ( )

## 2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

判定	Aランク	Bランク	Cランク
(1) ① 損傷度Ⅲ以上の損傷部材の有無	1. 無し	<u>2. あり</u>	
判 定	② 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. <u>危険無し</u>	2. 不明確 3. 危険あり
	③ 地盤破壊による建築物全体の沈下	1. <u>0.2m以下</u>	2. 0.2m~1.0m 3. 1.0m超
	④ 不同沈下による建築物全体の傾斜	1. <u>1/60以下</u>	2. 1/60~1/30 3. 1/30超
	柱の被害 [下記⑤⑥の調査階 (被害最大の階) <u>1</u> 階] (壁構造の場合は柱を壁の長さを読みかえる)		
(2)	⑤ 損傷度Ⅴの柱本数/調査柱本数 損傷度Ⅴの柱総数 <u>1</u> 本 調査柱 <u>10</u> 本 (調査率 <u>100</u> %)		
	1. 1%以下	<u>2. 1%~10% (10%)</u>	3. 10%超
	⑥ 損傷度Ⅳの柱本数/調査柱本数 損傷度Ⅳの柱総数 <u>2</u> 本 調査柱 <u>10</u> 本 (調査率 <u>100</u> %)		
1. 10%以下	<u>2. 10%~20% (20%)</u>	3. 20%超	
判定(2)	1. 調査済み 全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1の場合	<u>3. 危険</u> Cランクが1以上又はBランクが2以上
危険度の判定 判定(1)と判定(2)のうち大きな方の危険度で判定する	1. 調査済み (要内観調査)	2. 要注意	<u>3. 危険</u>

## 3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

判定	Aランク	Bランク	Cランク
① 窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	<u>2. 歪み、ひび割れ</u>	3. 落下の危険有り
② 外装材 (モルタル・タイル・石貼り等)	1. ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離
③ 外装材 (ALC板・PC板・金属・ブロック等)	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破壊
④ 看板・機器類	1. 傾斜無し	<u>2. わずかな傾斜</u>	3. 落下の危険有り
⑤ 屋外階段	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜
⑥ その他 ( )	1. 安全	2. 要注意	3. 危険
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合	<u>2. 要注意</u> Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

総合判定

3

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) 3. 危険 (赤)

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

1階の構造躯体である柱が大きな損傷を受けており、危険です。

窓枠・窓ガラスに歪み・ひび割れがあり、看板にも傾きが確認できますので、落下物についても要注意です。

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。